

宿泊約款

第1条(適用範囲)

1. 当ホテルが、(1)当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者との関係の規律、並びに、(2)宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約の内容は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めない事項については、法令等(法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。)又は一般に確立された習慣によるものとし、
2. 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする方、及び、当ホテルの宿泊客は、この約款の内容を了解かつ承諾し、何らの異議も述べず遵守するものとし、
3. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で宿泊客との特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その宿泊客との間においてのみ当該特約が優先するものとし、
4. 当ホテルで得た個人情報は、当社の定める「プライバシーポリシー」に基づき取り扱います。

第2条(宿泊契約の申し込み)

1. 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を真実に基づき当ホテルに申し出ていただきます。
 - (1)宿泊者名
 - (2)宿泊日及び到着予定時刻
 - (3)宿泊料金(原則として別表第1の宿泊料金による)
 - (4)その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

第3条(宿泊契約の成立等)

1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとし、ただし、前条の申し込みに際して虚偽の事項が申告等されたことが判明したときは、この限りではありません。
2. 当ホテルが、インターネットサイトに誤った宿泊料金を提示し、又は電話で誤った宿泊料金をご案内し、当該宿泊料金に基づき、宿泊料金の申し込みをされ、当ホテルが承諾した場合は、当該料金とその前後の期日の宿泊料金に比べて著しく低廉であるときは、当該料金につき「限定」、「特別」、「キャンペーン」等の低廉である理由の表示又はご案内のない限りは、民法上の錯誤による承諾であることから、宿泊契約は無効とさせていただきます、速やかに宿泊契約の申し込みをされた者にその旨の通知を差し上げます。
3. 第1項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊客は当ホテルに対し、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の宿泊料金を限度として、当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただく必要があります。
4. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、当ホテルは宿泊客に対し、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
5. 宿泊客が当ホテルに対し、第3項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までに お支払いいただ

けない場合は、何らの通知催告等も要せず、宿泊契約は当然にその効力を失うものとします。

第4条(申込金の支払いを要しないこととする特約)

1. 前条第3項の規定にかかわらず、当ホテルは、宿泊契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第3項の申込金の支払いを求めなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

第4条の2(施設における感染防止対策への協力の求め)

1. 当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法(昭和23年法律第138号)第4条の2第1項の規定による協力を求めることができ、宿泊しようとする者は、同条第4項に基づきこれに協力しなければなりません。

第5条(宿泊契約締結の拒否)

1. 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
 - (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき(申し込みに際してこの約款に対する違反がある場合を含む)。
 - (2) 満室により客室に余裕がないとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると当ホテルが判断するとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると当ホテルが判断するとき。
 - イ、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会勢力
 - ロ、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ、法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者がいるとき
 - (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (6) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2項第1項第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。
 - (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。(但し、宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。)第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は、合理的な範囲を超える負担であるか否かの判断に際し、当ホテルはしかるべき配慮をします。)
 - (8) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
 - (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (10) 都道府県等が定める旅館業法施行条例の規定する場合に該当するとき。
 - (11) 宿泊の申し込みをした者が、予約した部屋につき、転売や有料での斡旋など自己の利益を図る目的を秘して

申し込みをしたとき。

(12) 宿泊しようとする者が、過去に当ホテルとの間において、当ホテル関係者(役職員、宿泊客及び取引業者等を含むがこれらに含まれない)に対して何らかの問題を惹起したことがあるとき。

(13) 以上に準じ、当ホテルが、宿泊しようとする者の宿泊を認めることを相当でないと判断するとき。

第 5 条の 2(宿泊契約締結の拒否の説明)

1. 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

第 6 条(宿泊客の契約解除権)

1. 宿泊客は、本条の規定にしたがって、当ホテルに申し出て、宿泊契約の全部又は一部を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により(宿泊客都合の場合を含みますが、これに限られません。)宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第 3 条第 3 項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます)は、別表第 2 に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第 4 条第 1 項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後 10 時(あらかじめ、到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を 1 時間経過した時刻)になっても到着しないときは、当ホテルの任意の判断によって、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。かかる当ホテルの判断及び処理に対し、当該宿泊客は何らかの主張も請求することができません。

第 7 条(当ホテルの契約解除権)

1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約の全部又は一部を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第 5 条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
 - (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良な風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ、暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会勢力
 - ロ、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ、法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
 - (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(但し、宿泊客が障害者差別解消法第 7 条第 2 項又は第 8 条第 2 項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は、合理的な

範囲を超える負担であるか否かの判断に際し、当ホテルはしかるべき配慮をします。)

- (6) 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負荷が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第 5 条の 6 で定めるものを繰り返したとき。
 - (7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (8) 都道府県等が定める旅館業法施行条例の規定する場合に該当するとき。
 - (9) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る)に従わないとき。
 - (10) 宿泊客が、当ホテル関係者(役職員、宿泊客及び取引業者等を含むがこれらに含まれない)に対して何らかの問題を惹起したとき。
 - (11) 以上に準じ、当ホテルが、宿泊契約の維持を認めることを相当でないと判断するとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

第 7 条の 2(宿泊契約解除の説明)

1. 宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることが出来ます。

第 8 条(宿泊の登録)

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を真実に基づき登録していただきます。
 - (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
 - (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあつては、国籍及び旅券番号
 - (3) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第 12 条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただき、当ホテルが相当と認める方法によってその記録を保持するほか、当ホテルが必要と認める場合には、当ホテルが相当と認める金額のデポジットを預かせて頂くことができます。

第 9 条(客室の使用時間)

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、宿泊契約締結に際して当ホテルが決定し、宿泊客に提示した使用開始時刻(チェックイン可能時刻)から使用終了時刻(チェックアウト期限時刻)までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には、当ホテルが任意に定め、宿泊客に対して提示する延長料金を申し受けます。
3. チェックアウト期限時刻のいかんにかかわらず、チェックアウト手続完了をもって、宿泊客は客室の使用ができなくなります。

第 10 条(利用規則の遵守)

1. 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定め、ホテル内での提示等の適宜の方法により公開している利用規則に従っていただきます。宿泊客は当ホテルに対し、随時当ホテルの利用規則の提示を求めることができ、利用規則の内容を把握していないことを免責等の根拠として主張することができません。

第 11 条(営業時間)

1. 当ホテルの主な施設等の営業時間はパンフレット、各所の提示等で御案内いたします。
2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、当方が適当と認める方法をもって宿泊客に対してお知らせします。

第 12 条(料金の支払い)

1. 宿泊客が当ホテルに支払うべき宿泊料等の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨(日本円)又は宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法で、当ホテルが受け入れ可能と判断するものにより、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。なお、当ホテルは、外国通貨、暗号資産による支払いは受け入れ不可としております。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第 13 条(当ホテルの責任)

1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により、悪意又は重過失によって宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。
2. 当ホテルが本契約に基づいて負う損害賠償債務(債務不履行責任、不法行為責任、その他の法律上の責任のいずれであるか問わない)の金額は、当該損害が生じた際に宿泊客が当ホテルに対して支払った宿泊料金等の総額(但し、消費税相当部分を除く)を上限とします。
3. 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第 14 条(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

1. 当ホテルは、当ホテルの責めに帰すべき事由によって宿泊客に契約した客室を提供できないときは、できる限り同等条件による他の宿泊施設をあっ旋するよう努めるものとします。但し、宿泊客がかかるあっ旋を希望せず、自ら他の宿泊施設を探索することを希望した場合には、この限りではありません。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、別表第 2 記載の違約金相当額の補償料を宿泊客に支払います。この補償料は、損害賠償額の予定の法的性質を有します。また、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第 15 条(寄託物等の取扱い)

1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたとき

は、商法の規定にしたがい、当ホテルは、当ホテルの付保する保険約款に則り損害の賠償を致します。

2. 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品であってフロントにお預けにならなかったものについて滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその責任を負いかねます。ただし、当ホテルの悪意又は重過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、当ホテルの付保する保険約款に則り損害を賠償します。
3. 当ホテルでは、美術品、骨董品及び楽器等のお預かりは致しかねます。これらの他にも、当ホテルの判断により、物品等のお預かりを致しかねる場合があります。

第 16 条(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡します。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられ、これを当ホテルが発見した場合は、原則として発見日を含めて当ホテルが定める一定期間保管し、最寄りの警察署に届けます。なお、当ホテルはかかる事態に際し、宿泊客が第8条にしたがって登録した連絡先に対してのみ連絡すれば足りるものとします。

第 17 条(駐車場の責任)

1. 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、当ホテルは駐車場の場所を宿泊客の宿泊中にのみ一時お貸しするものであり、宿泊客の車両をお預かり等するものではなく、車両の管理責任や第三者による加害の防止等の義務は一切負いません。

第 18 条(宿泊客の責任)

1. 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。
宿泊客が、当ホテルの内外において、当ホテル以外の第三者等(他の宿泊客を含みますが、これに限られません)と紛争等になった場合、宿泊客の責任において解決するものとし、当ホテルはその解決等の責任を負いません。

第 19 条(免責事項)

1. 当ホテル内外からのコンピューター通信(当ホテルのネットワークやインターネット接続サービスを利用する場合を含むが、これに限らない)のご利用にあたりましては、宿泊客自身の責任にて行うものいたします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断したり、その他コンピューターウイルスに感染したりするなど、宿泊客がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、宿泊客によるコンピューター通信のご利用について、当ホテルや第三者等に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

第 20 条(本約款の変更)

1. 当ホテルは、次に掲げる場合には、本約款を変更し、これを第2項にしたがって周知することにより、変更後の本約款の条項について合意があったものとみなし、個別に宿泊客と合意をすることなく宿泊契約の内容を変更することができるものとします。

- (1)本約款の変更が、宿泊客の一般の利益に適合するとき
 - (2)本約款の変更が、宿泊契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、その他の変更に係る事情に照らして相当なものであるとき
2. 当ホテルは、本約款の変更をするときは、その効力発生時期を定め、かつ、本約款を変更する旨及び変更後の本約款の内容並びにその効力発生時期を、インターネットの利用その他の適切な方法によって周知するものとし、

第 21 条(管轄裁判所)

1. 宿泊契約に関して紛争が生じ、起訴等の法的手続が必要となりました場合には、訴額に応じて、東京簡易裁判所又は東京地方裁判所をもって第 1 審の専属的合意管轄裁判所といたします。

第 22 条(準拠法及び言語)

1. 本約款その他の利用規則等の有効性、解釈及び履行については日本国法に準拠するものとします。
2. 本約款その他の利用規則等は多言語にて作成されておりますが、すべて日本語のみを正とします。日本語以外のものは、すべて参照用にすぎません。日本語と、日本語以外のものとの間に矛盾抵触等がある場合には、常に日本語のみに従って内容が確定されます。

第 23 条(カスタマーハラスメント行為)

1. 当ホテルの従業員等(地位、身分、契約形態のいかんを問わず、当ホテルにおいて当ホテルの業務に従事するものを広く含みます)に対して、カスタマーハラスメントが行われた場合には、宿泊客に対するサービス提供をお断りさせていただきます。さらに当ホテルが悪質と判断した場合は、警察・弁護士等に連絡の上、法的措置等含めた厳正な対処を行います。
2. カスタマーハラスメントの定義は、以下のとおりとします。

要求内容の妥当性が認められないもの、要求を実現するための手段・様態として、社会通念上相当な範囲を超える言動・行動

なお、以下の記載は例示であり、これらに限られるものではありません。

- (1) 合理的理由のない謝罪の要求
- (2) 過剰または不合理な要求
- (3) 社会通念上、過剰なサービスの提供の要求
- (4) 身体的な攻撃(暴行、傷害)
- (5) 精神的な攻撃(脅迫、中傷、名誉棄損、侮辱、暴言)
- (6) 威圧的な言動
- (7) 継続的な、執拗な言動
- (8) 拘束的な言動(長時間の拘束【居座り、電話、その他業務に支障を及ぼす行為】)
- (9) 差別的な言動
- (10) 性的な言動(セクシャルハラスメント)
- (11) 従業員個人への攻撃、要求
- (12) 正当な理由なく合意を得ずに行う録音・録画

- (13) SNS やインターネットでの誹謗中傷、虚偽の情報提供や拡散
- (14) 正当な理由のない商品交換、金銭保障の要求、謝罪の要求

第 24 条(その他)

- 1.当ホテルでは消防法の定めにより火災報知機を館内各所に設置しており、火災、その他の理由により報知器が感知した場合、館内放送が流れることがあります。館内放送によりお客様が被害等を被った場合であっても、当ホテルは一切の責任を負いません。
2. お客様の安全の観点から、客室のドアに「Do not disturb/起こさないでください」(これに準ずる内容のものを含みます)のカードを提示されている場合、長時間に渡ってお客様と連絡が取れていない場合には、ホテル従業員が客室への電話連絡や客室前での呼び出しを行います。また、応答がない場合や緊急時など、当ホテルが必要と判断した場合は、やむを得ず客室に入室を行いますのでご了承ください。
3. 客室内や敷地内で許可なく営業上の目的で写真やビデオ等あらゆる機器による撮影および録音は、当ホテルは許容していません。また、私的に撮影及び録音されたものであっても、許可なく営業上の目的でインターネット上に掲載する行為や各種 SNS を使用した配信行為等はなさないでください(ライブ配信も含みます)。場合により、法的措置の対象となることがあります。
4. ご来館客と客室内でのご面会等は、当ホテルは許容していません。本約款第 2 条により登録された宿泊客(同伴者含む)以外の客室内での面会、及び宿泊させることはお断り申し上げます。
5. お客様宛に届いた物品等をホテルが代わりに受け取る場合、その品物の滅失・毀損等についてホテルでは当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、一切の責任を負いません。
6. 当ホテル施設の住所を住民登録として居所申請を行うことはお断りいたします。なお、滞在の証明は「宿泊証明書」の発行をもって行い、「居住証明書」の発行はいたしません。

(以下余白)

別表第 1 宿泊料金の内訳(第 2 条第 1 項及び第 12 条第 1 項関係)

宿泊客が支払うべき総額	内 訳
宿泊料金	基本宿泊料(室料)
追加料金	延長料金、その他の利用料金
税金	消費税/宿泊税/入湯税

備考

- ・税法が改正された規定によるものとします。
- ・ホテル所在地の自治体が宿泊税を導入している場合には、宿泊税を申し受けます。
- ・温泉があるホテルは、入湯税を申し受けます。

別表第 2 違約金(第 6 条第 2 項関係)

ご予約を取り消される場合は、ご利用日を起算日として、下記の違約金を申し受けます。
尚、違約金はお見積り金額に対して算出いたします。

項 目		キャンセル受付日				
		不 泊	当 日	前 日	9 日前	20 日前
宿 泊	一 般 14 名まで	100%	80%	20%	—	—
	団 体 15 名～99 名まで	100%	80%	40%	10%	—
	団 体 100 名以上	100%	100%	80%	20%	10%

(注)

- *1 %は宿泊料金に対する違約金の比率です。
- *2 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1 日分(初日)の違約金を収受します。
- *3 団体客(15 名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の 10 日前(その日より後に申込をお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の 10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については、違約金はいただきません。
- *4 日程変更の場合も、①当該日程のキャンセル②他日程のご予約という手続きを取らせていただき、上記キャンセル規定の適用対象となります。
- *5 上記内容につきましては、変更の可能性がございますので、予めご了承ください。

食事、宴会、懇親会、会場に対するキャンセル規定

ご予約を取り消される場合は、ご利用日を起算日として、下記のキャンセル料を申し受けます。

尚、キャンセル料はお見積り金額に対して算出致します。

項目	キャンセル受付日							
	条件	当日	前日	前々日	3～7 日前	8～14 日前	15～30 日前	1～2 か月 前
食 事	5名以下	100%	50%	30%	-	-	-	-
	6名～19名	100%	80%	50%	30%	-	-	-
	20名以上 or 全キャンセル	100%	100%	80%	50%	30%	-	-
宴 会・ 懇親会・ 飲み放題	5名以下	100%	50%	30%	-	-	-	-
	6名～19名	100%	80%	50%	30%	-	-	-
	20名以上 or 全キャンセル	100%	100%	100%	50%	30%	-	-
会 場	-	100%	100%	80%	50%	30%	20%	10%

※日数の算定は受付日の 17:00 までを当日扱いと致します。

※キャンセル数量の算定は、30 日前のご予約数量を基準と致します。

※会議室については 1 つから適用となります。

※日程変更の場合も、①当該日程のキャンセル ②他日程のご予約という手続きを取らせていただき、
上記キャンセル規定の適用対象となります。

※4 月を含むご予約につきましては、特別期キャンセル規定が適用になります。

※上記内容につきましては、変更の可能性がございますので、予めご了承ください。

特別期キャンセル規定

- 適用の期間:4 月を含むご予約
- 適用の範囲:ご予約の日程全体とさせて頂き、お見積り金額に対して申し受けます。日程変更の場合も、
①当該日程のキャンセル ②他日程のご予約という手続きを取らせていただき、下記キャンセル規定の適用
対象となります。

キャンセル受付日	ご請求の内容
実施日の 180 日前～31 日前	会場代の 30%
実施日の 30 日前～15 日前	会場代の 50%
実施日の 14 日前～8 日前	会場代の 70%
実施日の 7 日前～	会場代の 100%

※上記内容につきましては、変更の可能性がございますので、予めご了承ください。

Terms and Conditions for Accommodation Contract

Article 1 (Scope of Application)

1. The rules for relations with the Guest who intends to apply for an Accommodation Contract with this Hotel, and (2) the contents of the Accommodation Contract and related contracts concluded with the Guest shall be subjected to the following Terms and Conditions. Anything not included in within the following Terms and Conditions shall be governed by laws and regulations (meaning laws and regulations or those based on laws and regulations. The same shall apply hereinafter) or generally accepted practices.
2. The Guest who intends to apply for an Accommodation Contract with this Hotel, and any Guest staying at this Hotel, shall understand and accept the contents of these Terms and Conditions. The Guest shall comply with them without raising any objections.
3. In the case this Hotel has entered into a special contract with the Guest, insofar as the special contract does not violate laws, regulations and generally accepted practices, notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.
4. Personal information obtained by this Hotel will be handled in accordance with our Company's "Privacy Policy."

Article 2 (Application for Accommodation Contract)

1. A Guest who intends to apply for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - (1) Name of Guest(s);
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3) Accommodation charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No. 1);
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel
2. In the case when the Guest requests, during the Guest's stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such a request is made.

Article 3 (Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

1. An Accommodation Contract shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
2. In the case when the Hotel has presented an incorrect Accommodation Charge on its website or provided an incorrect Accommodation Charge over the telephone and a request for an Accommodation Charge has been made based on said Accommodation Charge and accepted by the Hotel, and the said Charge is significantly lower than the Accommodation Charges for the dates before or after that, unless there is an indication or notification about the reason why the said Charge is lower, such as "limited," "special," or "campaign," the Hotel will consider the Accommodation Contract invalid since this is an acceptance made by mistake under the Civil Code and will promptly notify the Guest who has made the request.
3. When an Accommodation Contract has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.

4. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6, and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charge as stated in Article 12.

5. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 3, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid without any form of notification.

Article 4 (Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 3 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.

2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 3 of the preceding Article at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as if the Hotel had accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Article 4-2 (Request for Cooperation in Infection Prevention Measures at Facilities)

1. This Hotel may request that the Guest seeking accommodation to cooperate in accordance with Article 4-2 Paragraph 1 of The Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948), and the Guest seeking accommodation must cooperate in accordance with Paragraph 4 of the same article.

Article 5 (Refusal of Accommodation Contract)

1. The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases. However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of The Hotel Business Act.

- (1) When the application for accommodation does not conform to the provisions of these Terms and Conditions (including the case where there is a violation of these Terms and Conditions when making the request);
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to act in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to the Guest's accommodation;
- (4) When the Hotel determines that the Guest seeking accommodation falls under any of the following items (a) to (c):
 - (a) An organized crime group as defined in Article 2, Paragraph 2 of Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members. (Law No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as an "organized crime group"), an organized crime group member as defined in Article 2, Paragraph 6 of the same Law (hereinafter referred to as an "organized crime group member"), an associate member of an organized crime group, or a person related to an organized crime group, or other anti-social forces
 - (b) When a corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or an organized crime group member
 - (c) When a corporation has an executive officer who is a member of an organized crime group
- (5) When the Guest seeking accommodation behaves in a manner that causes significant nuisance to other guests.
- (6) When the Guest seeking accommodation is a patient, etc. of a specific infectious disease as defined in Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as a "Patient, etc. of a specific infectious disease").

- (7) When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded in connection with the accommodation. (However, if the Guest who intends to stay at the Hotel is subject to the Act for Eliminating Discrimination Against Persons with Disabilities (Act No. 65 of 2013, hereinafter referred to as “the Act”), the Hotel will not accept the request. When requesting the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2, the Hotel will give due consideration in determining whether the burden is beyond reasonable limits.)
- (8) When the Guest seeking accommodation has repeatedly made requests to the Hotel that are deemed to be excessively burdensome and likely to significantly impede the provision of accommodation services to other Guests as specified in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act.
- (9) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural disasters, malfunction of facilities, or other unavoidable reasons.
- (10) When the circumstances fall under the provisions of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act established by the prefecture, etc.
- (11) When the Guest who has requested accommodation has made the request with the concealed intention of seeking personal profit, such as reselling the reserved room or arranging for a fee.
- (12) When the Guest seeking accommodation has in the past caused some kind of problem with a person related to the hotel (including but not limited to officers and employees, guests and business partners)
- (13) When the Hotel considers it inappropriate to provide accommodation to the Guest seeking accommodation for reasons similar to those mentioned above.

Article 5-2 (Explanation of Refusal of Accommodation Contract)

1. If the Hotel does not comply with the request to enter into an Accommodation Contract in accordance with the preceding Article, the Guest seeking accommodation may request an explanation from the Hotel for the reason.

Article 6 (Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

1. A Guest may cancel the Accommodation Contract in whole or in part by notifying the Hotel in accordance with the provisions of this Article.
2. In the case when the Guest cancels the Accommodation Contract in whole or in part due to reasons for which the Guest is liable (including, but not limited to, cases due to the Guest's convenience) (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 3 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
3. In the case when Guest does not arrive by 10 P.M. of the accommodation date without any advance notice (or one hour after the expected arrival time if the Guest has been informed in advance), the Hotel may, at its sole discretion, regard the Accommodation Contract as having been cancelled by the Guest and proceed accordingly. The Guest shall not be entitled to make any claims against such decisions and actions taken by the Hotel.

Article 7 (Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel)

1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases. However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of The Hotel Business Act.

- (1) When the Guest is deemed liable to act in a manner that will contravene the laws and regulations, the public order or good morals in regard to the Guest's accommodation, or when the Guest is deemed to have conducted such action.
- (2) When the Guest is deemed to fall under any of the following items (a) to (c):
 - (a) Organized crime group, an organized crime group member, an associate member of an organized crime group, or a person related to an organized crime group or other antisocial forces
 - (b) When a corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or an organized crime group member
 - (c) When a corporation has an executive officer who is a member of an organized crime group
- (3) When the Guest behaves in a manner that causes significant nuisance to other Guests.
- (4) When the Guest is a patient of a specific infectious disease.
- (5) When the Guest makes violent demands or is asked to assume an unreasonable burden in relation to the Guest's accommodation (however, when the Guest requests the removal of social barriers pursuant to Article 7 Paragraph 2 or Article 8 Paragraph 2 of the Act for Eliminating Discrimination Against Persons with Disabilities, the Hotel will exercise due consideration in determining whether the burden is beyond reasonable limits.)
- (6) When the Guest has repeatedly made requests to the Hotel that are deemed to be excessively burdensome and likely to significantly impede the provision of accommodation services to other Guests as specified in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act.
- (7) When the Hotel is unable to provide accommodation due to a natural disaster or other force majeure.
- (8) When the circumstances fall under the provisions of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act established by the prefecture, etc.
- (9) When the Guest smokes in bed, tampers with fire prevention equipment, or fails to observe any other prohibited activities stipulated by the Hotel (limited to those necessary for fire prevention purposes)
- (10) When the Guest causes any problem to the people related to the Hotel (including, but not limited to, officers, employees, guests and business partners)
- (11) When the Hotel considers it inappropriate to continue the Accommodation Contract for any reason similar to the above.

2. In the case where the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any services which he did not receive during the contractual period.

Article 7-2 (Explanation of Accommodation Contract Cancellation)

1. When the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Article, the Guest may request the Hotel to explain the reason therefor.

Article 8 (Registration)

1. The Guest shall truthfully register the following particulars at the Hotel front desk on the day of accommodation:

- (1) Name, address and contact details of the guest;
- (2) For foreign nationals not residing in Japan, their nationality and passport number;

(3) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2. In the case when the Guest intends to pay the Guest's Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph. A record of such will be kept in a manner that the Hotel deems appropriate. When the Hotel deems necessary, the Guest may make a deposit of an amount that the Hotel deems appropriate.

Article 9 (Occupancy Hours of Guest Rooms)

1. The time during which a Guest is entitled to occupy a guest room in our Hotel shall be from the start time of use (available check-in time) to the end time of use (check-out deadline) as stated in the Hotel at the time the Accommodation Contract is concluded. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, the Hotel will charge an extension fee determined at its discretion and presented to the Guest.

3. Regardless of the check-out deadline, once the check-out procedures are completed, the Guest will no longer be able to use the guest room.

Article 10 (Observance of House Rules)

1. While staying at the Hotel, Guests are required to observe the House Rules which have been established by the Hotel and which have been made public by any appropriate means, such as by displaying such regulations within the Hotel. The Guest may request the Hotel to present to them the House Rules at any time and cannot assert as a basis for exemption from liability, etc., that the Guest was not familiar with the contents of the rules.

Article 11 (Business Hours)

1. The opening hours of the main facilities of the Hotel will be indicated in pamphlets and on display in various locations.

2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

Article 12 (Payment of Accommodation Charges)

1. The breakdown of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No.1.

2. Payment of Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding paragraph shall be made at the front desk at the time of the Guest's departure or when requested by the Hotel in Japanese yen, or in alternative means such as accommodation vouchers or credit cards which the Hotel deems acceptable. Please note that the Hotel does not accept payments in foreign currencies or cryptocurrencies.

3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for the Guest by the Hotel and which are at the Guest's disposal.

Article 13 (Liabilities of the Hotel)

1. The Hotel shall compensate the Guest for damage if, through bad faith or gross negligence, the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements.
2. The amount of the liability for damages that the Hotel shall bear under this Contract (regardless of whether it is liability for breach of contract, tort or any other legal liability) shall be limited to the total amount of Accommodation Charge, etc. paid by the Guest to the Hotel at the time the damage occurred (excluding the amount equivalent to consumption tax).
3. The Hotel is covered by the Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

Article 14 (Procedure when unable to provide Contracted Rooms)

1. When the Hotel is unable to provide a contracted room to a Guest due to reasons beyond the Hotel's control, the Hotel shall endeavor to arrange accommodation of comparable conditions elsewhere for the Guest. However, this does not apply if the Guest does not wish to be arranged and wishes to explore other accommodations by the Guest.
2. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, if the Hotel is unable to arrange alternative accommodation for the Guest, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the penalty charges set forth in Attached Table 2. This compensation fee has the legal nature of an estimated amount of damages. In addition, if the Hotel is unable to provide a room due to reasons beyond the Hotel's control, the Hotel will not pay compensation.

Article 15 (Handling of Deposited Articles)

1. In the event that loss, breakage or other damage occurs to the goods, cash or valuables deposited by the Guest at the front desk, the Hotel will compensate for the damage in accordance with the insurance clauses of the Hotel in accordance with the provisions of the Commercial Code.
2. The Hotel shall not be liable for any loss, breakage or other damage caused to any items brought into the Hotel by the Guest but not deposited at the front desk. However, if loss, breakage or other damage occurs due to malice or gross negligence on the part of the Hotel, the Hotel will compensate for such damage in accordance with the insurance clauses provisions of the Hotel.
3. The Hotel will not accept artworks, antiques, musical instruments, etc. In addition to the above, there may be cases where the Hotel decides not to accept items etc.

Article 16 (Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest)

1. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before the Guest's arrival, the Hotel shall be liable to keep it only when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of the Guest's check-in.
2. If the Guest's baggage or belongings are left behind at the Hotel after check-out and are discovered by the Hotel, in principle, they will be kept for a certain period of time determined by the Hotel, including the day they were found, and then turned over to the nearest police station. In such a case, the Hotel will only need to contact the contact details registered by the Guest in accordance with Article 8.

Article 17 (Liability in Regard to Parking)

1. When a Guest utilizes the parking lot within the Hotel premises, it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, and is not taking care of the Guest's vehicle. The Hotel is not responsible for the management of the vehicle or for preventing damage to the vehicle by third parties.

Article 18 (Liability of the Guest)

1. The Guest shall compensate the Hotel for damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

If a Guest has a dispute with a third party other than the Hotel relevant party (including but not limited to other Guests) inside or outside the Hotel premise, the Guest shall settle the dispute at the Guest's own responsibility and the Hotel shall not be liable for settling such dispute.

Article 19 (Disclaimer)

1. The Guest shall be responsible for the Guest's own use of computer communication services both within and outside the Hotel premise (including, but not limited to, the use of the Hotel's network and Internet connection services). The Hotel shall not be liable for any damages suffered by the Guest during the use of computer communication services, including interruption of service due to a system failure or other reasons, or infection by a computer virus. Furthermore, if the Guest causes damage to the hotel or a third party as a result of the Guest's use of computer communication services, the Guest will be required to compensate for such damage.

Article 20 (Changes to these Terms and Conditions)

1. The Hotel may change the contents of the Accommodation Contract in any of the following cases without reaching an agreement with the Guest individually by amending these Terms and Conditions and notifying the Guest of the same in accordance with Paragraph 2, which shall be deemed to be an agreement to the revised Terms and Conditions:

- (1) When the change to these Terms and Conditions is in the general interest of the Guest;
- (2) When the change to these Terms and Conditions does not conflict with the purpose of the Accommodation Contract and is appropriate in light of the necessity for the change, the appropriateness of the content after the change, and other circumstances related to the change.

2. When the Hotel makes any changes to these Terms and Conditions it shall specify the date when the changes will come into effect and shall notify the Guest of the changes, the content of the revised Terms and Conditions and the date when the changes will come into effect via the Internet or any other appropriate means.

Article 21 (Court of Jurisdiction)

1. In the event that a dispute arises concerning the Accommodation Contract and legal proceedings such as prosecution become necessary, the Tokyo Summary Court or the Tokyo District Court shall be the court of first instance with exclusive jurisdiction, depending on the amount of the claim.

Article 22 (Applicable Law and Language)

1. The validity, interpretation and performance of these Terms and Conditions and other terms of use shall be governed by the Japanese law.
2. These Terms and Conditions and other terms of use have been prepared in multiple

languages. However, the Japanese version shall prevail in all respects. All non-Japanese text is for reference only. In the event of any inconsistency or difference between the Japanese and any non-Japanese version, the content of the Japanese version shall prevail in all respects.

Article 23 (Abuse from Guest)

1. If an abuse from the Guest is committed against an employee of the Hotel (this term broadly includes anyone engaged in the business of the Hotel, regardless of position, status, or type of contract), the Hotel will refuse to provide services to the Guest. Furthermore, if the Hotel determines the behavior to be malicious, the Hotel will contact the police, lawyers, etc. and take strict measures, including legal action.

2. The definition of abuse from Guest is as follows:

Requests that are deemed inappropriate or that are intended to achieve a request in a manner that exceeds the scope of what is considered socially acceptable

Please note that the following descriptions are examples and are not limited to them.

- (1) Unreasonable demands for apology
- (2) Excessive or unreasonable demands
- (3) Requests for provision of services that exceeds the scope of what is considered socially acceptable
- (4) Physical attack (assault, injury)
- (5) Psychological attacks (threats, slander, defamation, insults, verbal abuse)
- (6) Intimidating behavior
- (7) Continuous, persistent behavior
- (8) Restrictive behavior (restricting an employee for long periods of time [staying at their position excessively, making phone calls, and other actions that disrupt an employee's work])
- (9) Discriminatory behavior
- (10) Sexual behavior (sexual harassment)
- (11) Attacks or demands against employees
- (12) Recording or filming without a legitimate reason and without consent
- (13) Defamation or the provision or spreading of false information on social media or the Internet
- (14) Demands for exchanges, financial compensation, or apologies without a valid reason

Article 24 (Others)

1. In accordance with the Fire Service Act, the Hotel has installed fire alarms throughout the premise. If the alarm detects a fire or other reason, an announcement may be made over the Hotel's internal broadcasting system. The Hotel shall not be held liable for any damages suffered by the Guest as a result of the internal announcements.

2. For the safety of the Guest, if a "Do Not Disturb" card (or something similar) has been placed on the door of the guest room, the hotel staff will call the Guest via telephone or call the Guest in front of the room if they are unable to contact with the Guest for an extended period of time. Please note that the hotel staff may be forced to enter the guest room if the Hotel deems it necessary, such as in the case of an emergency or if there is no response.

3. The Hotel does not permit the taking of photographs, videos or recordings of any kind for commercial purposes within the guest rooms or on the premises without permission. In addition, even if the footage or recordings are for personal use, the Guest must refrain from posting them on the Internet or spread them via social media for commercial purposes without permission (including live streaming). In some cases, the Guest may

be subject to legal action.

4. The Hotel does not permit meetings between visitors and the Guest in guest rooms. The Hotel will not permit guests (including accompanying persons) other than those registered in accordance with Article 2 of these Terms and Conditions to meet in the guest room or allow them to stay overnight.

5. When the Hotel receives items delivered to a Guest on behalf of the Guest, the Hotel shall not be liable for any loss or damage to such items unless such loss or damage is due to reasons beyond the Hotel's control.

6. The Hotel will not accept applications for residence using the address of the hotel facilities as your resident registration. Proof of stay will be provided by the issuance of an "Accommodation Certificate", not a "Residence Certificate".

(The rest is blank)

Attached Table No.1 Breakdown of Accommodation Charges (Ref. Article 2, Paragraph 1 and Article 12, Paragraph 1)

Total amount to be Paid by the Guest	Content
Accommodation Charges	Basic Accommodation Charges (Room Charge)
Extra Charges	Extension Charges and Other Usage Charge
Taxes	Consumption Tax / Accommodation Tax / Hot Spring Tax

Remarks

- Those charges are subject to change to revisions of the Tax Laws concerned.
- If the local government where the Hotel is located has implemented an accommodation tax, the accommodation tax will be charged.
- Hotels with hot springs will charge a Hot Spring tax.

Attached Table No.2 Cancellation Charge (Ref. Article 6, Paragraph 2)

If the reservation is cancelled, the Guest will be subjected to the following cancellation charges, counted from the date of use.

The cancellation charge will be calculated based on the estimated amount.

Item		Cancellation Acceptance Date				
		No Show	Arrival Date	Day Before Arrival	9 Days before Arrival	20 Days before Arrival
Staying Guest	General: Maximum 14	100%	80%	20%	-	-
	Group: 15 to 99	100%	80%	40%	10%	-
	Group: 100 or more	100%	100%	80%	20%	10%

(Note)

- *1 The percentages signify the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charge.
- *2 When the number of days contracted is shortened, the cancellation charge for the first day of the cancelled period shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
- *3 In the event of cancellation of a contract for a part of a group (15 or more persons), 10% of the number of persons staying at the hotel 10 days prior to the date of stay (or the date of acceptance if the application is accepted after that date) (any fractional number will be rounded up) will not be subject to a penalty.
- *4 If there are changes in dates, the following steps will be taken: 1) Cancellation of the date in question and 2) make a reservation for another date. The above cancellation policy will apply.
- *5 Please note that the above information is subject to change.

Cancellation Policy for Meals, Banquets, Social Gatherings, and Venues

If the reservation is cancelled, the following cancellation charges will be applied, starting from the date of use.

The cancellation charge will be calculated based on the estimated amount.

Item	Cancellation Acceptance Date							
	Conditions	Arrival day	Day before arrival	2 days before arrival	3-7 days before arrival	8-14 days before arrival	15-30 days before arrival	1-2 months before arrival
Meals	5 people or less	100%	50%	30%	-	-	-	-
	6 to 19 people	100%	80%	50%	30%	-	-	-
	20 or more people or cancelling entirely	100%	100%	80%	50%	30%	-	-
Banquet/Social Gathering Party All you can drink	5 people or less	100%	50%	30%	-	-	-	-
	6 to 19 people	100%	80%	50%	30%	-	-	-
	20 or more people or cancelling entirely	100%	100%	100%	50%	30%	-	-
Venue		100%	100%	80%	50%	30%	20%	10%

*For calculation of the number of days, reservations made up until 5:00 P.M. on the day of reception will be considered as that day.

*Cancellation quantities will be calculated based on the number of reservations made 30 days prior.

*Applies to one or more conference rooms.

* If there are changes in dates, the following steps will be taken: 1) Cancellation of the date in question and 2) make a reservation for another date. The above cancellation policy will apply.

*For reservations including April, special cancellation policy will apply.

* Please note that the above information is subject to change.

Cancellation Policy for Special Periods

- Applicable Period: Reservations including April
- Scope of Application: This applies to the entire reservation period and will be applied to the quoted amount. * If there are changes in dates, the following steps will be taken: 1) Cancellation of the date in question and 2) make a reservation for another date. The below cancellation policy will apply.

Cancellation Acceptance Date	Charging Fee
From 180 to 31 days before the date of the events	30% of venue fee
From 30 to 15 days before the date of the events	50% of venue fee
From 14 to 8 days before the date of the events	70% of venue fee
From 7 days before the date of the events	100% of venue fee

* Please note that the above information is subject to change.